

記者発表（配付）資料

令和5年12月25日

| 所管部課 | 事務局長 | 課長 | 課長補佐・担当 | 連絡先 |
|------------------------|------|-------|---------|--------------|
| 萩市教育委員会事務局 文化・生涯学習課 | 植村 正 | 小野 彰彦 | 大平 展子 | 0838-25-3511 |

| | |
|----|--|
| 件名 | 第26回MOA美術館萩・長門地域児童作品展 萩市長賞受賞作品の寄贈について |
|----|--|

令和5年10月に開催された第26回MOA美術館萩・長門地域児童作品展において、萩市長を受賞した絵画作品が萩市に寄贈されることになりました。つきましては、下記により受納式を行いますのでお知らせします。

記

【寄付受納式】

■日時：令和5年12月27日（水）午後4時30分～午後5時00分

■場所：萩市役所 市長室

■寄贈者：山本 ^{ひなた}陽葵（萩市立明倫小学校5年）

■作品：絵画「ハトに乗った私」（縦54cm×横38cm）

第26回MOA美術館萩・長門地域児童作品展 萩市長賞受賞作品

※当日、寄贈される作品を持参されます。

【式次第】

- 1 開会
- 2 寄付者あいさつ（趣旨紹介）
- 3 絵画作品贈呈
- 4 感謝状贈呈
- 5 市長あいさつ
- 6 閉会



学校情報 東・西・南・北

ようこそ、わたしたちの学校へ！ホットな情報を紹介します。

発信 令和5年12月25日

| | | | |
|------|--|-----|-------|
| 学校名 | 萩市立椿西小学校 | | |
| 校長名 | 石田 恭二 | 担当者 | 石田 恭二 |
| 所在地 | 萩市大字椿3332番地1 | | |
| 連絡先等 | TEL:0838-25-2686 FAX:0838-25-2695 Email chinzei-e00@edu.city.hagi.lg.jp | | |

| | | | |
|---------------|--|--|--|
| 件名 | 「新春 書き初め大会」 ～ SDGs⑰パートナーシップで目標を達成しよう ～ | | |
| 内容 | ◎ 令和6年の新たな年を迎え、心新たに夢と希望を持ってスタートする子供たちが、書き初めを行います。学年ごとに体育館で行い、恵方を向いて書くなど、昔から伝わる書き初めの伝統に倣って行います。 ○ 3年生は「友だち」、4年生は「明るい心」、5年生は「新たな風」を、6年生は「将来の夢」を条幅に書きます。また、1・2年生は硬筆での書き初めを行います。 ○ 指導は、書道家である校長が行います。 | | |
| 日時 | 令和6年1月11日（木） ○午前 8時35分～ 9時20分 1年生（硬筆：1年1組教室） ○午前 9時30分～ 10時15分 3年生（条幅：体育館） ○午前10時35分～ 11時20分 4年生（条幅：体育館） 令和6年1月12日（金） ○午前 9時30分～ 10時15分 5年生（条幅：体育館） ○午前10時35分～ 11時20分 6年生（条幅：体育館） ○午後 1時50分～ 2時35分 2年生（硬筆：2年1組教室） | | |
| 場所 | 萩市立椿西小学校 体育館及び教室 | | |
| 参加者 | 椿西小学校全校児童194名（1年32名、2年28名、3年31名、4年29名、5年40名、6年34名） | | |
| その他 (参考事項) | | | |

記者発表（配付）資料

令和5年12月26日

| 所管部課 | 事務局長 | 課長 | 課長補佐・担当 | 連絡先 |
|------------------------|------|-------|---------|--------------|
| 萩市教育委員会事務局 文化・生涯学習課 | 植村 正 | 小野 彰彦 | 大平 展子 | 0838-25-3511 |

| | |
|----|--|
| 件名 | 【中止】第26回MOA美術館萩・長門地域児童作品展 萩市長賞受賞作品の寄贈について |
|----|--|

12月25日付けで記者発表しました「第26回MOA美術館萩・長門地域児童作品展 萩市長賞受賞作品の寄贈について」は、中止となりましたので、お知らせいたします。

（変更前）

下記のとおり

→

（変更後）

中止

変更前

| | |
|----|--|
| 件名 | 第26回MOA美術館萩・長門地域児童作品展 萩市長賞受賞作品の寄贈について |
|----|--|

令和5年10月に開催された第26回MOA美術館萩・長門地域児童作品展において、萩市長を受賞した絵画作品が萩市に寄贈されることになりました。つきましては、下記により受納式を行いますのでお知らせします。


記

【寄付受納式】

- 日時：令和5年12月27日（水）午後4時30分～午後5時00分
- 場所：萩市役所 市長室
- 寄贈者：山本 陽葵（萩市立明倫小学校5年）
- 作品：絵画「ハトに乗った私」（縦54cm×横38cm）
第26回MOA美術館萩・長門地域児童作品展 萩市長賞受賞作品
※当日、寄贈される作品を持参されます。

【式次第】

- 1 開会
- 2 寄付者あいさつ（趣旨紹介）
- 3 絵画作品贈呈
- 4 感謝状贈呈
- 5 市長あいさつ
- 6 閉会



記者発表（配付）資料

令和5年12月26日

| 所属部課 | 事務局長 | 課長 | 担当 | 連絡先 |
|---------------------|------|-------|-------|--------------|
| 萩市教育委員会 文化・生涯学習課 | 植村 正 | 小野 彰彦 | 中野 裕之 | 0838-25-3511 |

| | |
|----|------------------------|
| 件名 | 令和6年萩市「二十歳のつどい」の開催について |
|----|------------------------|

今年度、二十歳を迎えられた皆様の新たな門出をお祝いするとともに、ふるさと萩のことを想う令和6年萩市「二十歳のつどい」を下記のとおり開催いたします。

1 日時

令和6年1月2日（火曜日）

記念式典 午後1時30分～（受付 午後12時30分～）

2 会場

萩市民館 大ホール

3 対象者

平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた方

合計 460人

- 萩地域：382人
- 川上地域：6人
- 田万川地域：19人
- むつみ地域：7人
- 須佐地域：19人
- 旭地域：19人
- 福栄地域8人

4 内容

(1) 記念式典 午後1時30分～午後2時40分 [大ホール]

《式次第》【予定】

①開式のことば

②国歌斉唱 〈山口県立萩高等学校合唱部OG〉

金子 歩実（かねこ あゆみ）

上田 桜香（うえだ ほのか）

仕立 蒼依（したて あおい）

水津 優里（すいず ゆうり）

③萩市民憲章唱和

④式辞 （萩市長 田中 文夫）

⑤祝辞 （萩市議会議長 長岡 肇太郎）

⑥来賓紹介

⑦誓いのことば 代表 岡村 保菜美（おかむら ほなみ）

岡村 凜乃（おかむら りの）

⑧青年の主張 代表 松岡 灯子（まつおか とうこ）
中村 一稀（なかむら かずき）
角屋 明香梨（かどや あかり）

⑨実行委員会企画

⑩閉式のことば （萩市教育委員会教育長 池田 廣司）

(2) 記念写真撮影 午後2時40分～午後3時20分【予定時間】 [大ホールステージ]

5 主催

萩市、萩市教育委員会、萩市「二十歳のつどい」実行委員会

◇報道関係者の皆様へ

- ・ 駐車場は、市民館裏の旧萩市総合福祉センター跡の駐車場をご利用ください。
- ・ 当日は、報道関係者受付にて資料をお受け取りください。
- ・ 報道席につきましては、当日の受付でお知らせいたします。

記者発表（配付）資料

令和5年12月28日

| 所属部課 | 事務局長 | 課長 | 課長補佐 | 担当 | 連絡先 |
|------------------|------|-------|------|------|--------------|
| 萩市教育委員会 教育政策課 | 植村 正 | 河村美保子 | 青木 章 | 長嶋裕志 | 0838-25-3141 |

| | |
|----|--|
| 件名 | 萩市高校生寮 令和6年度入寮生の募集について 令和6年度から新たに男子寮の運営を開始します！ |
|----|--|

萩市内の高等学校（県立萩高等学校奈古分校を含む）の生徒のうち、離島または遠隔地に居住している生徒が通学しやすい環境を整備するため、平成29年に設置した高校生女子寮に加え、令和6年度から新たに高校生男子寮を設置します。

令和6年度の入寮生を下記のとおり募集しますのでお知らせします。

1. 募集期間 令和6年1月4日（木）～2月26日（月）
2. 募集人数 女子寮：6人程度、男子寮：各学年3人程度
3. 入居資格 離島や遠隔地に居住しており、萩高等学校、萩高等学校奈古分校、萩商工高等学校、萩光塩学院高等学校への通学が困難な高校生
4. 申込方法 萩市高校生寮入寮許可申請書に必要事項を記入のうえ、萩市教育委員会教育政策課へ提出（市ホームページからもダウンロード可能です）
5. 施設概要

| | 女子寮 | 男子寮 |
|-----|--|---|
| 所在地 | 萩市大字山田 4819 番地 1 | 萩市大字古萩町 25 番地 グランド萩イースト |
| 居室 | 個室(全12部屋)、エアコン、机、椅子、ベッド、クローゼット、Wi-Fi | 個室(全9部屋)、浴室、トイレ、エアコン、机、椅子、ベッド、クローゼット、Wi-Fi |
| 共用部 | 食堂、浴室、洗面台、トイレ、洗濯機、給湯室、冷蔵庫、駐輪場 | 食堂、ランドリールーム（洗濯機は無料、乾燥機は有料）、駐輪場 |
| 寮費等 | 寮費：月額 3,000 円 光熱水費：実費（使用量により算定） 食費：月額 30,000 円程度 ※食事は土日等を除き、1日3食 欠食数に応じて精算 | 寮費：月額 10,000 円 光熱水費：月額 10,000 円程度 食費：月額 32,400 円程度 ※食事は1日3食 欠食数に応じて精算 |
| 閉寮日 | 8月12日～15日 12月29日～1月3日 | 12月29日～1月3日 |

6. 施設写真

萩市高校生女子寮

【外観】



【居室】



萩市高校生男子寮

【外観】



【居室】



萩市高校生男子寮は、社会福祉法人創生会が整備される、地域課題解決型複合施設「グランド萩イースト」のワンフロアを萩市が借り上げ、男子寮として、令和6年4月から運営します。



※実際の居室とは一部仕様が異なります

※机、椅子、ベッドは令和6年3月に設置予定です

記者発表資料

令和5年12月28日

| 所属部課 | 部長・館長 | 課長 | 担当 | 連絡先 |
|----------------------|-------|-------|-------|--------------|
| 萩市商工観光部 萩・明倫学舎推進課 | 村田 卓二 | 上田 知由 | 高杉 保江 | 0838-25-3569 |

| | |
|----|-----------------------|
| 件名 | 萩・明倫学舎4号館の入居者を募集します！！ |
|----|-----------------------|

萩・明倫学舎4号館の教室に入居し、新たな産業や雇用機会を創出する事業者・団体・個人を募集します。

○貸付施設の概要

- ◆施設名 萩・明倫学舎4号館
- ◆所在地 萩市大字江向602番地
- ◆建物構造 木造2階建、寄棟造・洋瓦葺
- ◆建物面積 1694.03㎡



(現在の coworking スペース)

○貸付スペースの概要

| 階数 | 公募スペース | 床面積 (㎡) | 設備 | 貸付料 (月額) |
|----|--------|---------|-------|------------------|
| 2階 | 教室10 | 117.26 | 空調、照明 | 212,475円 ※別途光熱水費 |

共有設備：トイレ、給湯室、エレベーター、交流スペース、フリーWi-Fi

産業ゾーン

産業活力みなぎるまちづくりを支える場



ひとづくりゾーン

子供から大人まで学び体験できる人づくりの場

交流ゾーン

市内外の人がつながる交流・協働の場



○募集の概要

- ◆申込方法 1月4日(木)～1月19日(金)の期間中に、参加表明書を萩・明倫学舎推進課に提出。(期間中、現地視察が可能)
参加表明書を提出された方は2月9日(金)までに企画提案書(任意様式)などの必要書類を提出。
- ◆審査方法 関係者で構成された「選定委員会」において書類審査、プレゼンテーション及びヒアリング等により審査。
- ◆入居可能日 令和6年3月頃(予定)
※2月中旬頃までに入居者を決定し、3月から内装工事を実施していただきます。



萩ジオパーク

推進協議会だより vol.106



紙芝居「龍が通った道～メグとドラゴンのものがたり～」より © Naoko.M.

新年おめでとございます。
本年もよろしくお願いたします。

萩ジオパークにとって日本ジオパーク認定5周年の節目の年となった2023年は、4月から笠山山頂展望台を「鶯ノ巣」として、当協議会が一体的な管理運営を始めたことにより、鶯の目線でゆったり過ごす空間が生まれ、ジオパークパートナーや笠山ジオの会、至誠館大学と連携したイベントを開催したことで、多くの方々にお立ち寄りいただきました。9月には、萩市民館でジオパークフェスティバルを開催し、10月から11月にかけて各地域のイベントに出店して、協議会の皆様をはじめとする多くの方とつながった1年となりました。また、協議会発足以来、皆様と行ってきた取組が、他のジオパークの模範となる事例「グッドプラクティス」として、日本ジオパークネットワークから表彰されました。これまで活動に取り組んでこられた皆様方に敬意を表するとともに、ご支援をいただいた関係各位に深くお礼申し上げます。新たな年を迎え、2024年もこれまでと同様に関係自治体及び市民の皆様と一体となって、市民向けの講座や、学校でのジオパーク学習などによる理解増進、ジオツーリズムの充実や、拠点施設の管理運営による地域経済への貢献、イベントの開催による情報発信などに努めることで、多くの方に地球の目線からの萩の魅力を体験していただけるよう更なるジオパーク活動を展開してまいりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

萩ジオパーク推進協議会事務局



令和6年は辰年です。
萩ジオパークで「辰・竜・龍」と言えば「龍が通った道」。新たな気持ちで「龍が通った道」に行ってみませんか？

大井ふるさと愛好会から
萩市ジオパーク活動補助金の活動状況報告がありました

9月に交付決定を受けてすぐに専門委員会を開催し、事業内容やスケジュールを確認しました。

10月29日には、大井ふるさとまつりで「ジオの視点から見た鶴山台」の展示を、11月5日には、萩市立大井小中学校小学部の遠足を兼ねた学習会を、11月19日には、山口県立萩高校奈古分校の文化祭で研修成果発表を行いました。只今、鶴山台に設置する案内板を作成中です。3月にはウォーキングイベントの開催を予定していますので詳細が決まり次第ご紹介します。



奈古分校での展示

日本ジオパーク再認定審査結果について

12月14日（木）、日本ジオパーク委員会（JGC）が開かれ、今年度の対象5地域の再認定の可否について審議され、以下の結果となりました。

○再認定 三陸ジオパーク、Mine秋吉台ジオパーク、栗駒山麓ジオパーク

○条件付き再認定 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク、佐渡ジオパーク

（詳しくは日本ジオパーク再認定審査結果（geopark.jp） https://jgc.geopark.jp/files/20231214_01.pdf をご覧ください）

再認定審査は、活動の進捗状況を確認し、質の向上のために4年に1度実施されます。認定後4年間の取組について審査されますが、合否を決める「試験」ではなく、体の調子を見る「健康診断」のようなものです。JGCが「早急に解決を要する重要な問題点があると判断した場合」にいわゆるイエローカードと呼ばれる「条件付き再認定」となります。イエローカードが出た地域はJGCや日本ジオパークネットワーク事務局等のフォローを受けながら「治療法」をみんなで考え、通常の4年後ではなく2年後に再審査を受けます。審査結果から改めて萩での取組を振り返ってみませんか。

日本ジオパーク
再認定審査結果

笠山山頂展望台鶯ノ巣から新年のごあいさつ

新年おめでとうございます。笠山山頂展望台鶯ノ巣カフェは、1月4日から本年の営業を開始します。今年もお客様が快適に鶯の目線で人の暮らしをまわりの景色と合わせて堪能できるような空間づくりや、様々な団体と連携したイベントを企画し、実行してまいります。変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年12月26日笠山椿群生林で椿の開花宣言が行われました。着蕾状況は例年並みとのことで、これから緑の中に咲くヤブツバキが見られ、2月中旬から3月下旬に見ごろを迎えます。当店インスタグラムで開花の状況などを逐次紹介してまいりますので、是非フォローしてチェックしてください。

笠山山頂カフェ
Instagram

1月の予定

● 萩ジオアカデミー特別編「創ろう！「大地と人のつながり」を感じるプログラム（第2回）」 1月21日（日）10:00～16:00 場所：萩セミナーハウス 内容：子どもから大人まで楽しく学べるプログラム作りと実践（全2回講座） 主催・問い合わせ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）

● 第2回「大地の日」 1月21日（日）10:00～15:00 場所：萩セミナーハウス 内容：アウトドア体験や工作・実験教室などで、楽しみながら「大地と人のつながり」を感じていただくミニイベント（2ページ参照） 参加費：無料（一部有料） 主催・問い合わせ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）

「大地の日」を開催しました！



12月17日にミニイベント「大地の日」を萩セミナーハウスで開催しました。野外では「大地の遊びひろば」と称して、たき火、鉄なべ料理、珈琲焙煎などを楽しんでいただきました。室内ではゲームや実験、工作で地球や萩の大地を学ぶ「こども地球の学校」を行いました。

最高気温5℃、時折吹雪くような厳しい天候でしたが、そんな中、十数組の方々にお越しいただきました。なんと、中には宇部市や益田市など、車で1時間以上もかかるようなところからわざわざ！嬉しいですね。

寒さに凍える1日でしたが、来場者の方々とゆっくりお話できたり、出展者同士で交流できたり、充実した時間を過ごせました。

「大地の日」は1/21（日）、2/11（日）も開催します。お気軽に遊びに来てください～（次回はもう少し暖かいといいな...）。

筑波大学と筑波山地域ジオパークに行ってきました

授業や研修の講師の依頼をいただき、12月9日～10日に白井専門員が筑波大学と筑波山地域ジオパークに行ってきました。

筑波大学では、大学院生向けの集中講義「ジオパーク論」で約2時間半の授業を行いました。ジオパーク的な視点の紹介と、それを地域の方々と共有していく様々な手法について、萩ジオパークの取り組みを例にお話ししました。日本の未来を背負う若くて優秀な学生の皆さんに、ジオパークの取り組みを知っていただく貴重な機会になりました。



筑波山地域ジオパークでは、認定ジオガイド・スキルアップ研修の講師を務めました。ジオツアー等で活躍されているガイドさんたちと、「伝える」ガイド手法について一緒に考える半日の内容です。萩のジオガイドの皆さんにお願いして一部オンラインで萩とつくばを結びましたが、ツアーの企画方法やガイド団体の運営等についての質問がたくさん出て盛り上がりしました。

科学コミュニケーターに企画づくりのコツを教わりました



12月23日に、萩ジオアカデミー特別編「創ろう！『大地と人のつながり』を感じるプログラム」の第1回をオンラインで開催しました。

東京の日本科学未来館で、科学と一般市民の橋渡し役として大活躍中の科学コミュニケーターである花井智也さんを講師にお

招きし、魅力的な教育プログラムやイベントの作り方を考える全2回の講座の初回です。「企画づくりのコツって何だろう」と題して、未来館の取り組みや企画づくりのノウハウをご紹介いただき、後半にはアイデアの出し方（ブレインストーミング）を実際に受講者の皆さんと体験しました。受講者の皆さんから沢山の質問が飛び出したり、アイデア出しの作業では講師が驚くほど活発に意見が出たり、大変盛り上がり充実した2時間でした。萩で現地開催する第2回もとても楽しみです。

筑波山ゲートパークにも行ってきました



筑波山地域ジオパークの新しい拠点施設「筑波山ゲートパーク」が11月にオープンしました。筑波山ゲートパークは、2018年に廃校になった中学校の校舎を自転車とジオパークの拠点としてリノベーションされた施設です。今回の出張の際に見学してきましたので、ちょっとご紹介いたします。

校庭だった場所には本格的なレースもできる巨大なBMXコースがあり、関東中から多くの方が練習をしに来られているそうです。校舎の1階部分には筑波山地域ジオパークを紹介する展示があります。スマートボールやすごろく、砂場遊びができるコーナーなど、子どもから大人まで楽しみながら大地の成り立ちや人の暮らしとの関わりを知ることができるように工夫されています。展示以外にも、日本各地のジオパークのパンフレットが並ぶ情報コーナーがあったり、研修やワークショップに使える部屋が整備されていたり、「活動拠点」として使いやすい印象でした。観光客の皆さんも、地元の皆さんも、多くの方々が立ち寄って賑わう場所になっていくのではないのでしょうか。